

青少年育成相談センター
では、次のように「移動相談」と「教育相談の日」を実施します。
青少年に関する悩みや心配ごとについて、小学生から高校生まで、おおよそその年齢を対象に相談を受けることは、青少年育成相談センターへお問い合わせください。

談話 相相 移動 教育 相談

●移動相談
○とき：七月七日(水)の午後一時三十分～四時
●談話 相相 移動 教育 相談
○とき：七月七日、十四日、二十一日、二十八日(いずれも水曜日)の午前九時三十分～正午、午後一時三十分～四時
○ところ：図書館二階和室

社明運動にご理解を

今年も七月一日から三十一日まで「社会を明るくする運動」が全国的に展開されます。この運動は、犯罪の防止と犯罪を犯した人たちの更生について一般の理解を深め、犯罪のない明るい社会を築こうとするものです。今年の重点目標は「地域活動の推進による少年の非行防止と更生の援助」となっています。

最近、青少年の非行化が深刻な社会問題として取り上げられています。高校生、中学生から小学生へと非行の低年齢化が進み、家庭内暴力、校内暴力、薬物乱用、暴走行為などがますます増えています。

今回の運動では、「防ごう非行、助けよう立ち直り」という標語にもあるように、非行、犯罪の防止とともに、罪に陥った人たちの改善更生にも重点がおかれています。そのためには、誤って罪を犯した人たちが、再び非行・犯罪に走ることをなくすことが必要です。

立派に立ち直り、地域社会へ復帰するための援助が特に重視されています。いま新津市では、二十六名の保護司がこの更生保護の職務にあたっています。しかし、市民の皆さんのご理解、ご協力がなくては、成果をあげることはできません。保護司の活動にご協力くださるよう、お願いいたします。

なご今年も、各区長さんを通じて「社会を明るくする運動」の愛の募金をお願いします。目標は一戸あたり七円以内です。よろしくお願いします。これらの募金は、すべて更生保護事業の財源にあてられます。新津市の青少年が心身ともに健やかに成長し、非行・犯罪のない明るいまちづくりを進めるために、何分のご協力をお願いいたします。

新津保護司会会長 沢田 芳雄

未納保険料は早めに

国民年金の老齢年金を受け取るためには、決められた期間(受給資格期間)、保険料を納めなければなりません。しかし国民年金の保険料は、納期限から二年を過ぎると、その期間分の保険料は、納めなくても納められなくなり、したがって未納期間がある人の中には、この受給資格期間が満了されず、将来、老

齢年金を受けられないという人も出てきます。このようなことにならないよう、未納保険料がある人は、早めに納付されるようお願いいたします。なお分割納付もできますので、希望される方は市役所市民課年金係窓口⑥までお申し出ください。

国民年金 養セセンター 「こしじ」へ お出かけを 国民年金の加入者や年金受給者はもちろんのこと、その家族の皆さんや一般の方も利用できる国民年金保養センター

1をご存知でしょうか。これは健康管理や休養、レクリエーションなどに役立ててもらいために、国が全国各地に設置しているものです。それぞれ自然公園や温泉地、海浜地など、保養に適した環境の中にあり、公営の宿泊施設として安い料金で安心して利用できるようになっています。県内では、いづれの里として知られる北魚沼郡湯之谷村に「こしじ」があります。奥只見シルバレーラインや奥只見湖、そして日光国立公園の尾瀬などの散策の拠点として、多くの方々から利用されています。四季折々に彩る変える周囲の山々や渓流などの美しい自然を眺めながら温泉につかり、旬の味覚が味わえる「こしじ」を、ご家族連れでお気軽にご利用ください。

料金(泊・食税込み) 国民年金加入者、受給者及びその家族 ・・・四千五百円 一般 ・・・四千九百四十円 申し込み先 千九百六十六 北魚沼郡湯之谷村大字津沢 国民年金保養センター「こしじ」 〇二五七九 121611



明治大正 夜話

乃木少年 天保銭

幕末の武家と天保銭に関する話がないかと思つて捜していたが、具体的に天保銭に触れた例を発見することができなかった。

ところが、『文芸春秋』(昭和57年3月号)に発表されている渡辺淳一氏の歴史小説「静寂の海」の中に次のような一節に逢着した。

これは、渡辺淳一氏が「乃木大将物語」の中から、乃木大将の妹小笠原キネの述懐を引用して、乃木大将の幼年時代、少年時代を記している一節である。

同じく、小笠原キネの述懐だが、
「兄が九歳のときのことです。ある日母から、今日は華も黒も求めてないから、用達の店に行つて買求め、この天保銭をくずしてもらいなさいと申付けられました。」

このころ乃木家はまだ生活に余裕があり、下男や下女もいた。このころ乃木家はまだ生活に余裕があり、下男や下女もいた。

雪隠をして仕上げてしてきたものである。

最高の上布は一反の重さが25グラムから26グラム(70匁ほどで、天保銭の穴に生地が通るほど薄地である。その生地に涼味のある肌触りとした夏衣料とされてきた。)

また、一反の高級な越後上布は薄地で、その生地が天保銭の穴を通るほどであった。というのは、越後上布が極めて薄手であったことの譬喩とも考えられるが、その譬喩も

天保銭の穴から通される程であったと天保銭を持ち出し、天保銭の流通していた頃に生じた譬喩に拠つたものである。

いづれにせよ、透き通って見える程薄く軽い越後上布を「天保銭の穴から抜ける程」と懸念したのは面白いことである。このような譬喩は「北越雪隠」などにもありそうに考えられる。

これに対し、小ドル屋(オタク)の取組と「天保銭」というのは居留地の外国人商人や外国兵から小口に洋銀を買いあつて、之を大ドル屋などに売り、その売上の差額を稼いでいたもので、多くは店舗を持っていなかった。

この小ドル屋は、毎朝、市中の米穀商・砂糖商や、その他の小売業者から天保銭を買入れて、魚・鳥・青物などの食料品を売る市場への路傍へ行くことを日課としていた。

この食料品市場は、毎朝四時から五、七時頃まで開かれ、外国人はその雇人達にこの市場で食料品を購入させたが、この市場では洋銀は通用せず、すべて天保銭が使われていた。この小ドル屋は、この市場で、小ドル屋は、このようにして得た洋銀を大ドル屋、外国銀行又は中国商人に転売して、一分銀その他の邦貨を得ていた。だが、小ドル屋の口銭は洋銀百ドルについて僅か数銭、百文乃至三百文に過ぎなかったという。

(新潟大学名誉教授)

お買物、ご用命は市内で

らくらくクレジット3~20回払い!!

写真のよきパートナー

コダカナラ

新津市本町2丁目 ☎2-0583

ひときわいきいき、緑の表情

観葉植物各種取揃え

ご注文・お問い合わせは

株川名花店

本町3丁目 ☎3-1187代

お買物、ご用命は市内で

《新製品》

サンス・ノアール

500円・1,200円

2,200円・3,200円

にいつオーサカヤは新しい感覚の

素敵なおかしを作りました。

パリッとするサブレに

甘いレーズンクリームを

サンドしました。

お買物、ご用命は市内で

サカヤ

本町2 ☎2-0112